

活動名	「矢幅駅周辺のまちづくり」見学会 (CPD 番号 -)
主催	都市部会
日時	平成 20 年 8 月 23 日 (土) 9:00 ~ 12:00
場所	JR 矢幅駅周辺
参加人数等	9 人

活動内容

～ 区画整理事業等、市街地整備が活発に行われている矢幅駅周辺地区の見学 ～
 現在矢巾町では、矢幅駅周辺中心市街地の整備が大きく進められている。当地域は、快適な住環境の整備だけではなく、中心市街地として人々が集う魅力あるまちづくりが求められているほか、岩手医大の移転に伴い交通結節機能の充実や中心市街地の活性化などがより一層望まれている。

このような当地区のまちづくりが実際にどのように取り組まれているのか、現地見学を行った。

1 見学会の概要

○事業の現状

矢幅駅周辺地区は、昭和 50 年代から土地区画整理事業による整備構想があった。事業化の一時凍結もあり、それから 20 年以上を経て、現在、駅西側の矢幅駅西地区土地区画整理事業と駅東側の矢幅駅前地区土地区画整理事業、さらに JR 東北本線により分断されていた市街地を連結し中心市街地の一体化を形成する矢幅駅の橋上化や自由通路等の整備事業が積極的に進められていた。

(1) 矢幅駅西地区

事業名称：盛岡広域都市計画事業矢幅駅西地区土地区画整理事業

施行面積：22.6ha 事業費：6,627 百万円 施行期間 H16. 2. 17～H24. 3. 31

進行状況：平成 17 年 11 月に仮換地指定を行い、まちづくり交付金も導入しながら、建物移転補償と各種工事を実施中。街区の構成は終わり、住宅建設が盛んに行われていた。

(2) 新矢幅駅自由通路等整備事業

駅を中心とした東西都市軸の強化を図るため、ユニバーサルデザインを導入した東西自由通路、橋上駅舎及び東西交流広場が整備されていた。

(3) 矢幅駅前地区

事業名称：盛岡広域都市計画事業矢幅駅前地区土地区画整理事業

施行面積：11.6ha 事業費：6,753 百万円 施行期間：H18～H26

進捗状況：平成 22 年度の仮換地指定を目指し、公共用地の先行買収を行っている。

2 感想



後も注目です。

盛岡市の南に隣接し、独自のまちづくりを進める矢巾町。その中心を担っているのが区画整理事業で、しかもそこには長い住民との話し合いの歴史がありました。その努力の成果として橋上駅と一体となった自由通路の完成、矢幅駅西地区の進捗、そして矢幅駅前地区の立ち上がりとなっていました。駅前地区のパティオの形成、岩手医大の本格的な移転等、目覚ましい発展が期待される矢巾町のまちづくりに、今

(村井：記)

